PART3　その他の接続助詞

★「て」の用法＝単純接続

「　　形」＋て

★「で」の用法＝「　　」接続（～　　）

「　　形」＋で

（例）鬼ある所とも知らで、…

問八　傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

御心にも入らせ給はで、かの女のかたをしきりに御覧ずれば、…

ア　動詞の活用語尾　　イ　打消の助動詞　　ウ　打消の接続助詞
エ　順接の接続助詞　　オ　同格の格助詞

問九　「見せで」の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　見せて　　イ　見せられて　　ウ　見えず
エ　見せないで　　オ　見えて

★「つつ」の用法＝①反復（～ては）　②継続（～し続けて）

「　形」＋つつ

（例）女はこの男をと思ひ**つつ**、親のあはすれども、聞かでなむありける。
（親が他の人と結婚させる）

問十　「物入れつ、参らするを」の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　何か物を入れては差し上げていますのに
イ　何か物を入れて召し上がっていますのに
ウ　何か物を入れながら参上なさいますのに
エ　何か物をお入れしながら伺わせますのに
オ　何か物をお入れ申し上げなさいますのに

★「に」・「を」の用法＝①**順接**（～**ので・から**）
②**逆接**（～**のに・けれど**）
③**単純接続**（～**ところ・と**）

「　形」＋に・を

（例）

あやしがりて寄りて見る**に**、筒の中光りたり。

このことを嘆く**に**、ひげも白く、腰もかがまり…

人も手を触れぬ**に**、ふと上ざまへ上がりたるも、いみじうをかし。

★「ながら」の用法＝①逆接（～**のに**）
②同時（～**ながら**）
③**そのまま**
④**全部、～中**　　※「数量＋**ながら**」の形が多い

問十一　傍線部の訳を、次の中からそれぞれ選べ。

① 身はいやしながら、母なむ宮（＝皇族）なりける。

② すべて折につけつつ一年ながらをかし。

③ 涙にむせびながら申すやう…

④ 「こなたに入り給へ」と、御簾の内ながらのたまふ。

ア　～のに
イ　～ながら
ウ　～のまま
エ　全部、～中

①＝　②＝　③＝　④＝

★**もの系（＝ものの・ものから・ものゆゑ・ものを）**＝「　接」

「　形」＋もの系

＊「ものの」以外は順接の働きもある。

＊「ものを」＝**文末**にあれば、**詠嘆の終助詞**として「**〜のになあ**」と訳す。

（例）

口惜しく心憂き**ものから**、すこしほほ笑まれて…

白玉か何ぞと人の問ひしとき露と答へて消えなまし**ものを**

（「真珠ですか、何ですか」とあの人が尋ねたときに、「露です」と答えて、消えて（＝死んで）しまったならばよかった　）

問十二「木の皮、苔の衣を着て、言ふばかりなきものから、ただの人に見えず。」の傍線部の解釈として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　言葉で説明するまでもない簡素な装いだったので

イ　言葉にできないくらいひどい身なりであったが

ウ　言葉に表せないくらい高貴な雰囲気があったので

〈Memo〉

第19講　PART3　確認問題

①「ものも（言ふ）で帰りぬ。」の（　）内の語を文法的に正しく活用させたものを、次の中から選べ。

ア　言は　　イ　言ひ　　ウ　言ふ　　エ　言へ

②「かくうたふを聞きつつこぎ来る［　　］、…」の空所にあてはまる接続助詞として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ば　　イ　に　　ウ　と　　エ　で

③「（銀貨を）六つながら夫妻に給はりけり。」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ずつ　　イ　ならば　　ウ　だとしても　　エ　すべて

④「野山にまじりて竹を取りつつ、よろづの事に使ひけり。」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　竹を取っては
イ　竹を取るけれども
ウ　竹を取るならば
エ　竹を取るので

⑤「雀の子を、犬君（いぬき）が逃がしつる。伏籠（ふせご）のうちに籠（こ）めたりつるものを。」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　かごの中に入れておいたのになあ
イ　かごの中に入れておこうかしら
ウ　かごの中に入れておかなかったから
エ　かごの中に入れておかなければいけないわ

第19講　PART3　解答

問八　ウ
問九　エ
問十　ア
問十一　①ア　②エ　③イ　④ウ
問十二　イ

第19講　PART3　確認問題　解答

〔解説〕

① 「言ふ」はハ行四段活用動詞。接続助詞「で」の上には未然形が来る。よって、アが正解。

② 「来る」はカ行変格活用動詞の連体形。選択肢の中で連体形に接続する接続助詞は「に」のみ。よって、イが正解。

③ 「数量＋ながら」なので、「全部・～中」の意味。他の意味は「ながら」にはない。よって、エが正解。

④ 接続助詞「つつ」は、反復（～ては）あるいは継続（～し続けて）の意味。よって、アが正解。

⑤ 「ものを」は、文末にあるときは不満や残念な気持ちを込めた詠嘆の終助詞として「～のになあ」と訳す。よって、アが正解。

〔解答〕

① ア　② イ　③ エ　④ ア　⑤ ア